

資料3

合同学校運営協議会

期日：令和元年6月5日
時間：18時30分～
場所：早来町民センター

Q1 なぜ、合同学校運営協議会を開くことになったの？

A1 町民参画推進条例に則り広く住民意見を反映し計画を進めるためです。

Q2 今までの考える会や説明会の話は白紙なの？

A2 1月から取り組んできたものも貴重な住民意見です。それらを基に考えていきます。

Q3 合同学校運営協議会は何をするの？

A3 事務局（教育委員会）からの案に対して審議し、意見をもらいます。
・どんな学校にする ・広さはどうする ・教室はどうする など

Q4 毎回全員集まるの？

A4 各コミスクから5名程度、委員を選出してもらい「合同学校運営協議会検討部会」を設置します。全員が集まるのは最初（設置）と最後（審議）のみです。

Q5 全部で何回ぐらいあるの？

A5 8月末までは2週間に1回のペースで部会があります。全体会は今回と8月末予定です。

Q6 学校選択制は？

A6 これとは別に会議を持ち、検討していきます。

早来中学校の校舎が使えない



案1) 改修して使用は? ⇒ 老朽化も進み改修費用がかかる

案2) 同じ場所に建替は? ⇒ 高台にあり地盤の被害が大きい

案3) 町内別場所で建替は? ⇒ 市街地に広い町有地がない

案4) 小学校隣に建替は? ⇒ グラウンドがなくなる



小学校隣地の土地を取得 →

- ①中学校のみ建設
- ②老朽化する小学校とあわせて小中一体建設

<h1 style="text-align: center;">主な検討課題</h1>	合同学校 運営協議会	新しい学校 を考える会	教職員 検討会
<p style="text-align: center;">①学習・生活環境のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科等を主体的・対話的に深く学べる学習環境の考え方 ・成長段階に対応した学習生活環境の考え方 ・連携、協働を支える職員スペースの考え方 ・学級増減への対応 			○
<p style="text-align: center;">②社会共通資本としての学校施設のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育に対する地域支援、教育参加 ・学校施設の有効利用と地域活動を支える施設環境の考え方 ・防災拠点となる施設環境の考え方 	○	○	
<p style="text-align: center;">③ICT,IoTを生かせる施設環境のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育ツール、教材としてのICT・IoT ・学校経営に資するICT・IoT ・地域連携・開放利用に資するICT・IoT ・多様な世界とつながるツールとしてのICT、IoT 	○	○	○
<p style="text-align: center;">④ 以上のあり方を具体化する施設計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設計画の目標 ・配置計画の考え方 ・各室計画の考え方 ・所要室・面積構成（面積表） ・平面計画の考え方 	○	○	○

スケジュール

6月5日(水) 第1回 合同学校運営協議会（全体会）

6月11日(火) 第1回 新しい学校を考える会

6月中旬 第1回 教職員検討会

学校づくりで何を考える必要があるのか

6月27日(木) 第1回 合同学校運営協議会検討部会

7月3日(水) 第2回 新しい学校を考える会

7月上旬 第2回 教職員検討会

具体的な学校の案（所要室、面積、運営方式、配置など）

7月22日(月) 第2回 合同学校運営協議会検討部会

7月30日(火) 第3回 新しい学校を考える会

7月下旬 第3回 教職員検討会

具体的な学校の案（所要室、面積、運営方式、配置など）

8月下旬 第4回 合同学校運営協議会（全体会）